

水資源機構筑後川局管内事業所 渇水対策本部の設置について

独立行政法人水資源機構筑後川局、筑後川上流総合管理所並びに筑後川下流総合管理所(以下「筑後川局管内事業所」という)は、令和5年12月19日(火)15時に渇水対策本部を各々設置しましたのでお知らせします。

今後、関係利水者等と水源情報の共有を強化し、迅速かつ的確な渇水対応を行ってまいります。限られた水資源を有効に活用するため、節水にご理解とご協力をお願いします。

<渇水対策本部の設置理由>

- ①筑後川水系では、本年8月から少雨が続き、特に本年9月から10月の筑後川の流域平均雨量は平年の3割程度にとどまっています。これに対してダムから断続的に補給を行ったことで、水資源機構が管理する4つのダム（江川ダム、寺内ダム、大山ダム及び小石原川ダム）では貯水量が少ない状態で推移しています。

【12月19日(火)0時現在 三ダム(江川、寺内、小石原川ダム)及び大山ダム】

ダム名など	貯水量	貯水率	備考
三ダム	2,229万 m ³ ※	約45%	平年の5割～6割程度
大山ダム	756万 m ³	約69%	平年の7割～8割程度

※渇水対策容量を除いた貯水量。渇水対策容量とは、危機管理対策として小石原川ダムに緊急水として備蓄される容量

- ②今後、更に少雨が続き、ダムからの補給が続いた場合には、利水者の水源確保が懸念される事から、令和5年12月19日に第2回筑後川水系渇水調整連絡会が開催され、第1次渇水調整が合意されました。
- ③これに合わせ、筑後川局管内事業所では、令和5年12月19日に渇水対策本部をそれぞれ設置しました。



令和5年12月19日

独立行政法人水資源機構 筑後川局

筑後川上流総合管理所 筑後川下流総合管理所

配布先

国土交通省九州記者会	九州建設専門記者クラブ
久留米市政記者クラブ	佐賀県政記者クラブ
日田市政記者クラブ	西日本新聞朝倉支局
読売新聞筑紫支局	毎日新聞福岡南支局
朝日新聞太宰府支局	

問い合わせ先

● 渇水対策本部設置に関すること

筑後川局 総務課長 ^{あなみ} 穴見 施設管理課長 ^{たけだ} 武田

住 所：福岡県久留米市東町42-21

電 話：0942(34)7001(代表)

● 江川ダム、寺内ダム、大山ダム及び小石原川ダムに関すること

筑後川上流総合管理所 総務課長 ^{まつざき} 松崎 管理課長 ^{やまもと} 山本

住 所：福岡県朝倉市江川1660-67

電 話：0946(25)0113(代表)

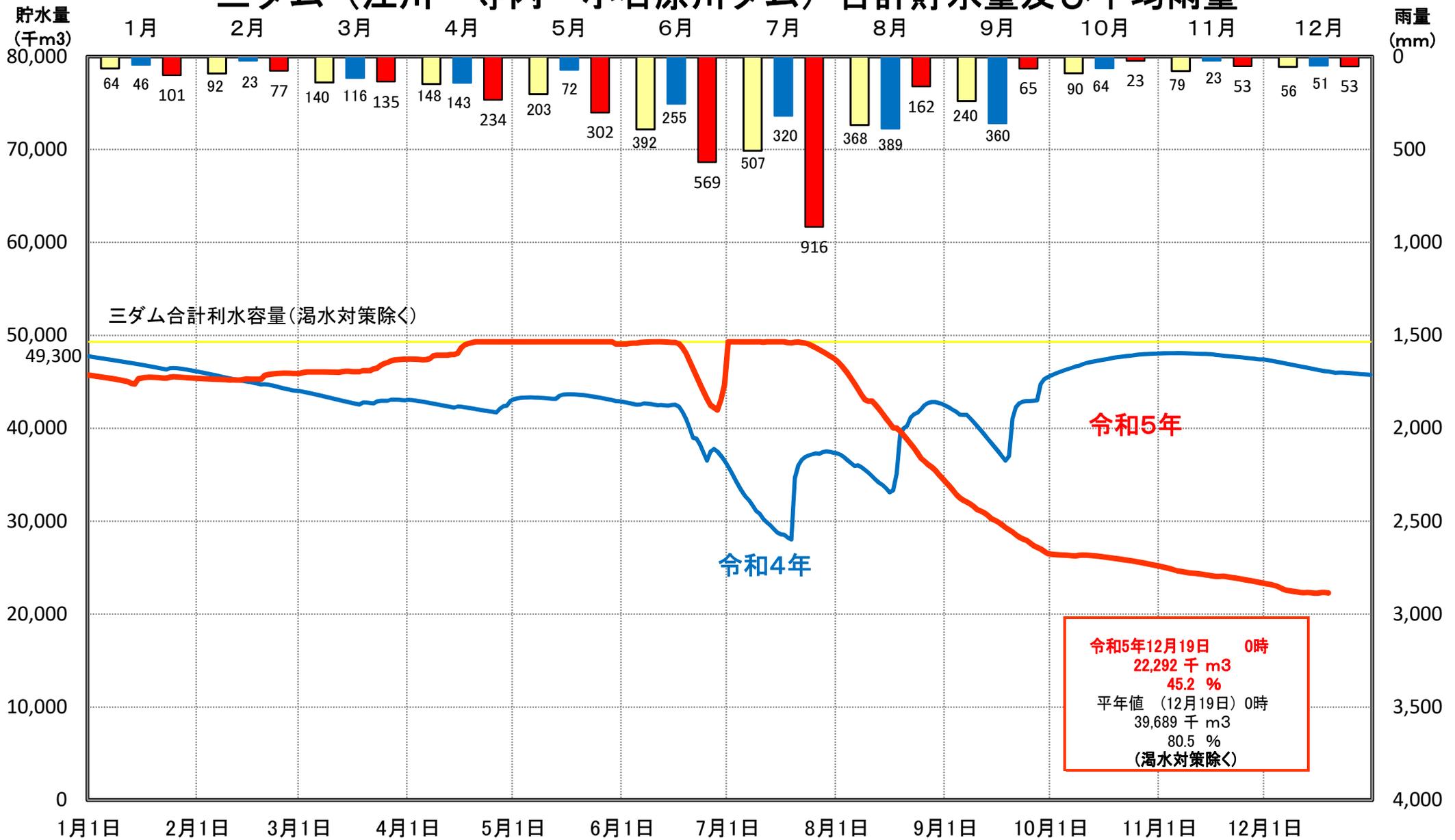
● 筑後大堰に関すること

筑後川下流総合管理所 総務課長 ^{のむら} 野村 管理課長 ^{しかた} 四方

住 所：福岡県久留米市安武町武島1063-2

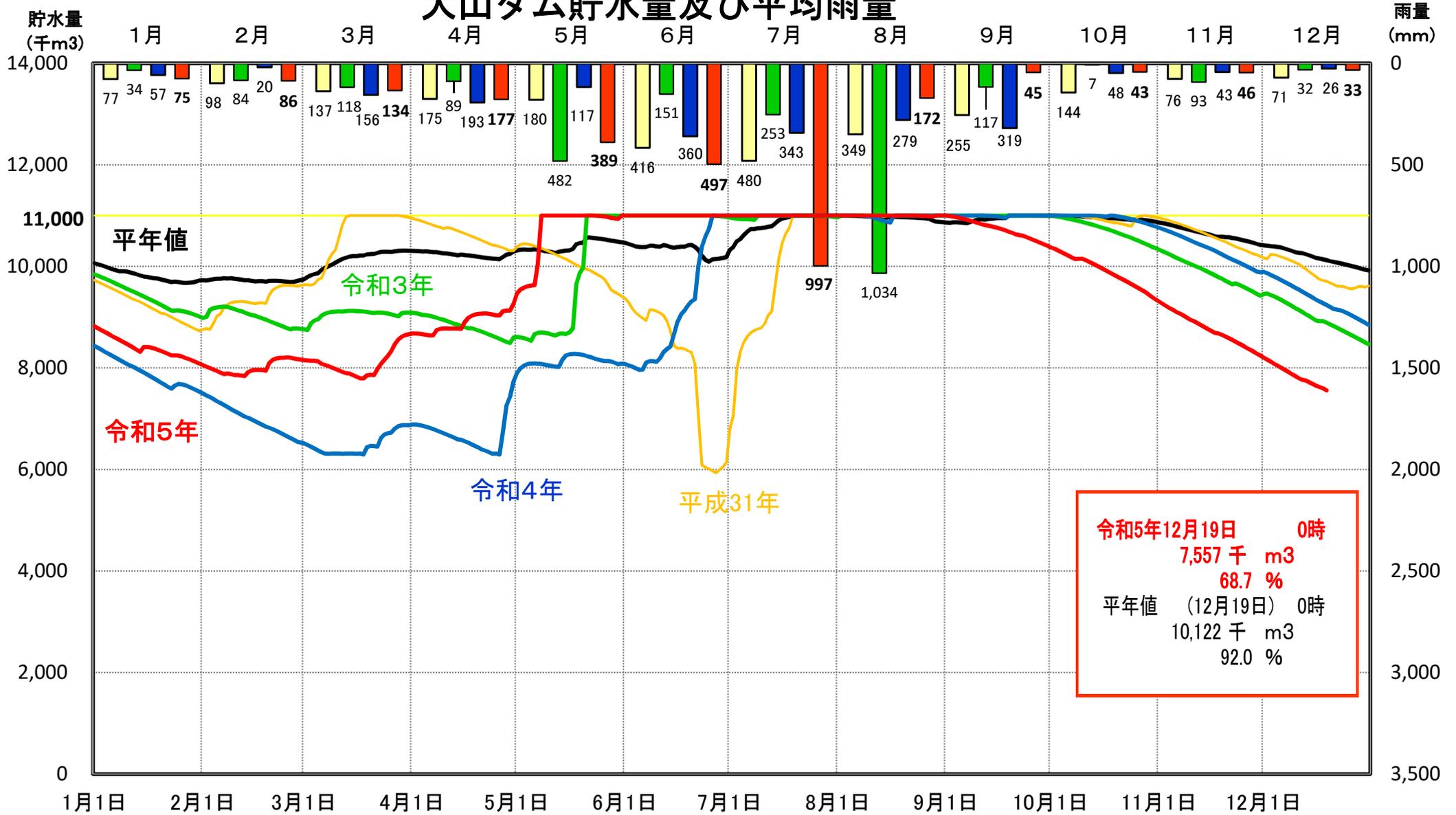
電 話：0942-26-4551(代表)

三ダム（江川・寺内・小石原川ダム）合計貯水量及び平均雨量



平年雨量
 R4雨量
 R5雨量
 三ダム合計利水容量(湧水容量除く)
 R4
 R5

大山ダム貯水量及び平均雨量



令和5年12月19日 0時
 7,557 千 m3
 68.7 %
 平年値 (12月19日) 0時
 10,122 千 m3
 92.0 %

平年雨量(H25.4~) R3雨量 R4雨量 R5雨量 利水容量 平年値(H26.1~) H31 R3 R4 R5

江川ダム、寺内ダム、大山ダム、小石原川ダムの貯水池状況

	貯水率100%の貯水池	令和5年12月15日時点
江川ダム		
寺内ダム		
小石原川ダム		
大山ダム		